

「平成29年度城山高等学校不祥事ゼロプログラム 実施状況」

	項 目	目 標	実施結果と目標の達成状況
1	公務外非行の防止	教育公務員としての高いモラルを持ち、社会のマナーやルールを遵守する。	不祥事防止会議において、啓発資料等をもとに職場研修を実施した。 教育公務員としての高いモラルを持ち、社会のマナーやルールを遵守することができた。
2	セクハラ・わいせつ行為の防止	セクハラ・わいせつ行為を未然に防止する。	①事故防止会議において、職場研修を実施した。 ②8月に外部講師を招き人権研修を実施した。 セクハラ・わいせつ行為を未然に防止することができた。
3	体罰・不適切な指導の防止	生徒の人権を尊重した指導を常に心がけ、体罰・不適切な指導の発生を未然に防止する。	①7月に適切な部活動指導の研修会及び消防署の方を講師に招き心肺蘇生法講習会を実施した。 ②事故防止会議において、啓発資料をもとに職場研修を実施した。 体罰・不適切な指導を防止することができた。
4	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故を未然に防止する。	①事故防止会議において、啓発資料をもとに職場研修を実施した。 ②定期テスト前に本校教務基準を確認した。 進路関係書類提出前にマニュアル及び点検体制を確認した。 成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る不祥事を未然に防止することができた。
5	個人情報管理・情報セキュリティ対策の徹底	個人情報の管理に対する意識を高め、個人情報の流失を未然に防止する。	①事故防止会議において、啓発資料をもとに職場研修を実施した。 ②USBメモリの取扱い7原則の確認をした。 ③個人情報の収集について、適切な方法の周知を図った。 個人情報の管理に対する意識を高め、個人情報の流失を未然に防止することができた。
6	交通事故防止、飲酒運転防止、交通法規の遵守	交通法規の遵守に努め、交通事故・違反、酒酔い・酒気帯び運転を未然に防止する。	事故防止会議において、啓発資料をもとに職場研修を実施した。 交通事故防止、飲酒運転防止、及び交通法規の遵守をすることができた。
7	不適正経理処理の防止	県費・私費会計の適正な執行を行う。	①私費会計担当者説明会を実施し、私費会計ルールを周知した。 ②私費会計の適正な取扱いについて、事故防止会議において、職場研修を実施した。 ③私費会計について、10月に中間監査、平成30年4月に平成29年度監査を実施した。 県費・私費会計の適正な執行を行うことができた。
8	入学者選抜業務に係る事故防止	入学者選抜に係る事故を未然に防止する。	①啓発資料をもとに職場研修を実施した。 ②平成30年1月～3月を入学選抜業務事故防止月間とし、作業手順とチェック体制を常に点検するとともに、マニュアルに基づく点検を実施した。 入学者選抜に係る事故を防止することができた。
9	安全標語による意識啓発及び事故・不祥事の防止	若手職員作成の安全標語を職員に周知し、事故・不祥事ゼロに向けた職員の意識向上を図る。	毎月安全標語を作成し、各月毎に発表し職員の意識向上を図ることができた。

○ 平成29年度不祥事ゼロプログラムの達成状況及び平成30年度に取り組むべき課題

平成29年度不祥事ゼロプログラムについては、おおむね達成することができた。平成30年度についても、不祥事ゼロを目標に、職員全員が教育公務員としての高いモラルを持ち職務遂行に努めていきたい。職員一人ひとりが不祥事発生の危険を意識し、常に業務改善を心がけ風通しの良い職場をめざす。特に次の3点について重点項目として取り組む。

- ※ 体罰・不適切な指導の防止
- ※ 成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止
- ※ 入学者選抜業務に係る事故防止